

編集後記

読者の皆様、いつも『眼科』をご愛読いただき、ありがとうございます。

2026 年も下半期に突入いたしました。今月号では「緑内障と他の眼科専門領域との連携」と題して、緑内障と眼科他領域疾患との関わり合いが特集されました。日々の外来や手術室での診療では、緑内障単独というよりは、特集されたようなほかの眼疾患もみられるということは珍しくないかもしれませんが、今回の系統だって整理された最新の内容は、今日からの日常診療に大きく役立つこと間違いなしと思います。本誌後半の硝子体手術で用いる補助剤の綜説、前眼部悪性腫瘍の連載記事も毎日の診療に欠かせない知識です。また、他診療科でも補体経路を標的とした治療開発が進むなか、眼科領域でも、今まで手をこまねいていた萎縮型 AMD/地図状萎縮に対する治療介入を実現させた「アイザバイ」も重要な話題です。症例報告では無菌性眼内炎、駆逐性出血とその対応が取り上げられています。読者の皆様も同様のご経験があらわれる場合、ご自身の症例の経過を思い起こしながら、ご一読いただきましたら幸いです。

ますます暑くなって、熱中症対策、台風などの話題が TV などに取り上げられる季節です。一方、和歌山に在住する筆者個人にとりましては、好物の和歌山特産のフルーツと海の幸の時期というイメージが強い頃合いです。和歌山北部のかつらぎ町(和歌山県立医科大学の紀北分院の所在地)では、6 月後半からお盆頃まで桃の収穫時期です。ご存じのように同じ品種の桃が 2 か月以上も収穫できるわけではありません。6 月は桃山白鳳と日川白鳳、7 月は八幡白鳳、紀の里白鳳、白鳳、7 月後半は清水白桃、8 月は川中島白桃が主力選手です。有田みかんで有名な和歌山県有田市の漁港では、これからしばらくの期間、鰯とタチウオが美味しくなる時期です。昭和 39 年生まれの筆者が小学生の頃は、どちらもごく普通の日々の食卓に並ぶ大衆魚でしたが、今はすっかり「高級魚」です。

さて、『眼科』の原著論文、症例報告、私の経験はカラー印刷を含めて掲載料がゼロです。どしどしご投稿をお願いいたします。

(雑賀司珠也・記)

編集：後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均・根岸一乃・福地健郎
編集顧問：小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・飯島裕幸・坪田一男・富田剛司

「眼科」 第 68 巻 第 7 号 7 月号

2026 年 7 月 5 日発行 (毎月 1 回 5 日発行)

定価 3,410 円 (本体 3,100 円 + 税 10%)

年間講読料金

定価 50,820 円 (本体 46,200 円 + 税 10%)

[年間 13 冊 (臨時増刊号を含む) の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料]

発行所 金原出版株式会社

発行者 前田達也

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03-3811-7165 [編集室直通]

Tel 03-3811-7184 [営業部直通]

Fax 03-3813-0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03-3622-6161

広告申込先 (株)文京メディカル Tel 03-3817-8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・教育機関、医療機関、企業などにおいて本誌を無断で複製すること (コピー、スキャン、デジタルデータ化など) は「私的使用」など著作権法上の限られた例外にはあらず、違法となります。また、限られた例外に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して複製を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・本誌を AI (人工知能) 分野に関する用途で許諾を得ずに利用する行為は、当社の利益を不当に侵害する可能性があります。必ず事前に当社までお問い合わせください。